

川崎市市制100周年記念表彰 登壇受賞者一覧

No.	表彰区分	活動分野	個人・団体の別	年齢	氏名又は団体名	受賞理由
1	市政功労賞	文化・スポーツ分野	団体		一般財団法人川崎沖縄県人会	大正13年に発足し、市内イベント等において舞踊や民謡、エイサーなどの沖縄文化を発信活動を行い、令和6年に創立100周年を迎える。 平成28年、那覇市との友好都市協定締結20周年記念事業として川崎市と共催で第2回かりゆしフェスティバルを開催したほか、川崎市民の浄財で那覇市に寄贈した佐藤惣之助詩碑移設へ向けた署名活動、首里城再建に向けた市内での募金活動等、本市と那覇市の交流に大きく寄与している。
2	市政功労賞	地域振興・まちづくり分野	団体		川崎市全町内会連合会	川崎市全町内会連合会は、昭和36年12月に市内各連合町内会相互の連絡を密にし、地域社会の振興発展を図ることを目的に設立した。 当連合会は、「安全で安心できる住みよいまちづくり」を目指し、市をはじめ、関係機関と協働して町内会・自治会相互の連携と友好を深め、町内会・自治会活動を推進することで、住民自治の活性化や地域住民の福祉向上に寄与しており、発足以来、60年以上の長きにわたり、力強いリーダーシップを発揮して、町内会・自治会活動を牽引している。
3	市政功労賞	産業振興分野	団体		川崎商工会議所	・「街おこし協力隊事業」として、市内の商店街・商店が抱える課題(商品開発や販売促進活動、イベントの企画・手伝い等)を解決し、地域商業の活性化を促進している。 ・川崎市、公益社団法人川崎港振興協会とともに、川崎港の現状等について、市民及び港湾関係者の理解を深め、川崎港に対する親近感を高め、その重要性を認識してもらうことを目的として「川崎みなと祭り」を実施している。 ・「川崎ものづくりブランド推進協議会」、「KAWASAKI事業承継市場」、「川崎市SDGsプラットフォーム」、「かわさき名産品認定事業実行委員会」等、多くの市政関連の組織のコアメンバーを務めているほか、「川崎国際環境技術展」の主要スポンサーなども務めている。
4	市政功労賞	環境保全分野	団体		川崎温暖化対策推進会議 (CC川崎エコ会議)	市内の市民、事業者、教育・研究機関、行政等の多様な主体が連携して、川崎市の地球温暖化対策の基本方針である「カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略」を推進するとともに、国内外に川崎市の地球温暖化防止に向けた取り組み等の情報を発信していくことで、川崎市のみならず、地球全体の温暖化防止に寄与することを目的として平成20年7月に設置された。主な取組として、市内のCO2削減に貢献する優れた取組を表彰する「スマートライフスタイル大賞」や地域における各主体の取組の可能性等を考える機会であるシンポジウムの開催、川崎市脱炭素行動宣言の実施など本市の脱炭素社会の実現に向けた行動変容の促進において、重要な役割を担っている。

川崎市市制100周年記念表彰 登壇受賞者一覧

No.	表彰区分	活動分野	個人・団体の別	年齢	氏名又は団体名	受賞理由
5	市政功労賞	福祉・保健衛生分野	団体		川崎市民生委員児童委員協議会	各区民生委員児童委員長及び代表による委員会・部会活動の推進や、市内民生委員児童委員を対象とした研修事業の実施、顕彰・互助事業の実施、大会の開催及び広報・啓発活動の推進、全国・関東ブロック関係の大会・研修会等への参加協力及び行政をはじめとした関係機関・団体との連携及び関係事業等への参加協力を行っている。
6	市政功労賞	教育分野	団体		認定特定非営利活動法人 かわさき市民アカデミー	市民大学である「かわさき市民アカデミー」の修了生の会である「かわさき市民フロンティア」や受講生を中心として、平成19年度にNPO法人を設立。「かわさき市民アカデミー」の運営を通じて、市民が生涯にわたる学習と社会参加を通して積極的に生きることを支援し、活力ある地域社会の創造をめざす市民のために高い専門性を備えた継続的な学習の場の提供を続けており、本市の生涯学習振興に貢献している。 なお、「かわさき市民アカデミー」は令和5年度に開学30周年を迎えた。
7	未来賞	文化・スポーツ分野	個人	29	辻 沙絵	2016 リオパラリンピック 女子100m 7位 女子200m 7位 女子400m 銅メダル 2017 世界パラ陸上競技選手権大会(イギリス) 女子400m 3位 2021 第32回日本パラ陸上競技選手権大会(東京) 女子100m 1位 女子200m 1位 女子400m 1位 2021 東京パラリンピック 女子400m 5位 2021 ジャパンパラ陸上競技大会(香川) 女子100m 1位 女子200m 1位 女子400m 1位※日本新記録 2023 パリ2023世界パラ陸上競技選手権大会(フランス) 女子400m 5位 混合4×100mユニバーサルリレー 1位
8	未来賞	地域振興・まちづくり分野	団体		新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアム	新百合ヶ丘エリアで展開している各エリアマネジメントの活動を一体感のある組織に再編し、さらに活動を発展、継続して行っていくことで、新百合ヶ丘地区の魅力を高め、地域の活性化を目指すことを目的に、平成30(2018)年4月設立された。約100の企業・団体が参画し、地域課題の解決、まちの活性化、清掃・美化活動、魅力向上に取り組んでおり、主な取組として「しんゆりフェスティバル・マルシェ」を定期的開催し、賑わいを創出している。令和6年には初めて麻生区役所と協働して、「SDGsマルシェinあさお」を開催するなど、SDGsのまちづくりも進めている。その他、麻生区役所と連携して、防災啓発・広報業務を行い、総合防災訓練等にも積極的に参加している。

川崎市市制100周年記念表彰 登壇受賞者一覧

No.	表彰区分	活動分野	個人・団体の別	年齢	氏名又は団体名	受賞理由
9	未来賞	産業振興分野	団体		キングスカイフロントネットワーク協議会	産学官が交流・連携し、研究開発拠点として魅力的なまちづくり、操業環境の向上を図るとともに、研究・事業活動の活性化を図ることにより、キングスカイフロントの持続的な発展を図っている。特に、キングスカイフロントの立地機関がそれぞれの特色を出しながら、科学技術を身近なものとして広く市民に紹介する体験型イベント「キングスカイフロント夏の科学イベント」や中学生を対象とした「キングスカイフロントOPEN DAY」は、地域住民等との交流、子どもたちの学びの場として一助を担っている。 また、殿町3丁目地区の清掃活動を町会と合同で毎年2回実施するなどの地域貢献活動が、キングスカイフロントエリアや立地機関の活動等について理解を深めてもらう機会となっている。
10	未来賞	環境保全分野	団体		日本ロレアル株式会社	平成29年に里山保全活動に関する協定書を取り交わしてから、久末イノ木特別緑地保全地区での里山保全活動を行っている。活動は年2回の竹林整備と、平成29、30、31年度に植樹した樹木(日本ロレアルの寄付)の手入れを行い、健全な緑地の維持に寄与しているとともに、令和5年度には生物多様性の寄与を目的として坂戸なかよし公園での植樹(樹木の寄附)等の活動にも取り組みはじめ、公園緑地での着実な活動が期待される。
11	未来賞	福祉・保健衛生分野	団体		サポートセンター Rond	医療的ケア児への支援を障害児通所支援事業所としては、唯一市内にて10年以上の支援を実施してきた障害児通所支援事業所であり、今後も市内にて医療的ケア児支援における活躍が期待されている。 医療的ケア児への支援は、令和3年にいわゆる医療的ケア児支援法が制定され、支援に対する社会的機運が醸成されつつあるが、以前は、医療的ケア児への支援は医療と福祉制度の狭間にあり、支援者の切り拓く力無くして支援が届かない状況があった。そういった中で、10年以上に渡り医療的ケア児への支援を行ってきた事業所である。 法も整備され、国や自治体での取組みが加速している今だからこそ、事業所として取り組んできた実績を評価し、今後においても市内事業所をリードする事業所としての活躍を期待している。
12	未来賞	教育分野	団体		かわさき芽吹塾	2021年5月1日開校した川崎市高津区と中原区で活動している無料塾。さまざまな理由で有料の塾に通うことができない中高生に大学生を中心としたボランティアの講師(在籍人数約50人)が無料で授業をしている。通年で概ね毎週木曜日と土曜日17時30分～21時、高津市民館、てくのかわさき、かわさき市民活動センターなどを会場にして開催。授業の補習から受験勉強まで幅広い学習支援を行っている。また、学習中には勉強だけでなく兄や姉のような立場で中高生の悩みを聞き、アドバイスをすることもあり、思春期の子どもたちの心の拠り所にもなっている。

川崎市市制100周年記念表彰 登壇受賞者一覧

No.	表彰区分	活動分野	個人・団体の別	年齢	氏名又は団体名	受賞理由
13	Colors、Future!賞	文化・スポーツ分野	個人	17	藤野 菜莉	Breakdance Dream Cup(小中学生のブレイキン日本一決定戦)で一昨年は準優勝、昨年は優勝を果たし、前回の日本選手権ではオープンでベスト16、JDSFの強化指定まであと一歩と迫る実績があり、将来が期待されるB-Girl(ブレイキンのダンサー)である。
14	Colors、Future!賞	地域振興・まちづくり分野	団体		まちびらき隊	NPO法人姿勢教育の孝心会の活動から生まれた子ども主体の団体。代表は大学生だが、中学生・高校生が中心。「まちのみんなと一緒に僕たち、私たちが遊ぶ公園を、まちを、地球をキレイにしたい！楽しみたい！」を目標に、活動を行っている。令和5年度からは、区提案事業に選定された子どもの夢を子どもが中心となって実現させる「こどもまちびらき大作戦」を実施中。
15	特別市政功労賞	-	個人	95	斎藤 文夫	<ul style="list-style-type: none"> ・平成13年 東海道宿駅制定400年を記念して、浮世絵を中心とした資料館「川崎・砂子の里資料館」を私財を投じて開設。 ・平成15年4月から平成23年4月に一般社団法人川崎市観光協会として法人化されるまで、川崎市観光協会連合会会長(民間人で初めて)に就任。法人化後も代表理事・会長に就任し、市内11地区(現在10地区)の観光協会と連携して、「観光都市・かわさき」の推進に邁進している。 ・平成16年に、国土交通省から「観光カリスマ」として神奈川県内では唯一と選ばれ、地域の観光振興のリーダーとしての活動が認められた。 ・東海道川崎宿に関する資料展示施設の建設に8千名の署名活動の中心となり、平成25年9月の「東海道かわさき宿交流館」の開設への原動力となった。 ・川崎港振興協会の会長として、港湾施設の充実やポートセールスにおいて、川崎港の発展に大きく貢献した。

川崎市市制100周年記念表彰 登壇受賞者一覧

No.	表彰区分	活動分野	個人・団体の別	年齢	氏名又は団体名	受賞理由
16	特別市政功労賞	-	個人	82	藤嶋 昭	<ul style="list-style-type: none"> ・東京大学大学院生時代に、酸化チタンに光を当てると酸素が発生する「酸化チタン光触媒」の原理を発見。 ・平成15年4月から平成22年3月まで(財)神奈川科学技術アカデミーの理事長を務められており、光触媒に関する基礎研究、応用研究に精力的に取り組まれるとともに、市民に光触媒の効果等を分かりやすく紹介する光触媒ミュージアムの開設等に尽力した。 ・川崎市域で活動している研究者や技術者が組織や専門分野を超えて集い、交流する場として平成18年に開設した「かわさき科学技術サロン」の世話人会座長としてサロンの開設以来、令和4年3月24日に退任するまで企画運営に深く携わった。 ・子どもたちの科学技術や産業に対する知的好奇心を高め、将来の社会経済を担う人材に成長してもらうことを目的に、市内の企業や研究機関が持つ先端化学技術を市内の中学生向けに紹介する「川崎市先端科学技術副読本 川崎サイエンスワールド」の監修委員として刊行に尽力した。 ・長年にわたり本市教育委員を務められ、教育行政の推進に多大な貢献をした。また、本市の理科教育の普及に取り組み、「子どものころから理科の面白さに触れてほしい」との思いから、学校への出前授業や学校・図書館への本の寄贈などを通じて、子どもたちの夢を育む教育に尽力。 <p>科学技術研究における独創性や卓越性により数々の学術賞、褒章等で顕彰され、化学者として著しい功績を残している。</p>
17	特別市政功労賞	-	個人	77	山田 長満	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社ケイエスピー代表取締役社長(平成15年6月～平成19年6月)、川崎商工会議所議員、副会頭、会頭(平成22年～令和元年)、名誉会頭(令和元年～現在)、公益財団法人川崎市文化財団副理事長、理事長(平成23年～令和元年)、公益財団法人川崎市国際交流協会代表理事会長(平成27年2月～平成30年6月)、一般社団法人川崎ラオス友好協会理事長、最高顧問(平成27年～現在)といった、市と関係の深い各団体の要職を務めている。 ・市内中小企業の活性化のため、平成28年4月に施行された「川崎市中小企業活性化のための成長戦略に関する条例」について、検討会の座長として、業界代表者、消費者団体、学識経験者等の意見をとりまとめ、条例案の作成、市への条例策定要望を行った。 ・平成元年に、任意団体として山田長満奨学会を設立、平成2年から奨学会事業を開始し、優秀な学生に給付型の奨学金を付与することで、日本や国際社会に貢献する人材を育成している。 ・令和5年1月に、ラオス人民民主共和国フワン県ビエンサイ郡「日本ラオス友好桜公園」にて、ラオス人民民主共和国パンカム・ウィパーワン前首相あてに、長年の交流と両国友好の証として、桜の苗木 150 本を寄贈し、桜植樹式が開催された。